

20011

OCT/OFDI と Monorail delivery system 併用の検証

【背景・目的】OCT/OFDI は高い解像度を有する血管内イメージングモダリティであるが、良好な画像を得るには、十分な血球除去が必要である。血球除去に Monorail delivery system (Guidezilla: 以下、MDS) が有効かを検証する。**【方法】** 疑似血管モデルとして、内径 3mm のシリコンチューブを、疑似血液として、コーヒー牛乳を用いた。血球除去には、低分子デキストランをオートインジェクタにて (4ml/sec total 8ml) 注入。疑似血管近位部からの排液量をサイドホールの有無、Guidezilla 使用の有無で検証。次に、血管モデル入口からコーヒー牛乳を定常流で流した状態で血球除去が可能かを検証した。**【結果】** 疑似血管近位部からの漏れ出た排液量は、サイドホールがある場合、MDS の併用で大幅に減少。OCT/OFDI の撮像は、サイドホール有で、MDS 無しの場合は、血球除去ができなかった。**【考察】** サイドホール付きのガイドカテーテルを使用した場合、MDS の併用で、より確実に血球除去が可能と考えられる。また、本システムの使用により、回旋枝などの分岐部にも選択的に血球除去が可能となるため、MDS と OCT/OFDI の併用は有用であると考え